



阪神・淡路大震災30年
1995.1.17

阪神・淡路大震災 30年事業特別講演

「震災復興とプレイスメイキング」

日時：令和7年2月21日 開演 14:30
〔受付 14:00〕

会場：ANCHOR KOBE
神戸市中央区加納町4丁目2-1
神戸三宮阪急ビル 15階

参加費 無料
定員 100名



講師
建築家 槻橋 修 氏
神戸大学大学院工学研究科建築学専攻教授
ティーハウス建築設計事務所主宰
神戸大学減災デザインセンター センター長

■ 申込フォーム ■



申込はこちらから

主催：（一社）兵庫県建築士事務所協会
青年部・女性部合同委員会



講師

建築家 槻橋 修 氏

プロフィール

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻教授
ティーハウス建築設計事務所 主宰
神戸大学減災デザインセンター センター長

1968年 富山県高岡市生まれ
京都大学工学部建築学科卒業
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程
単位取得退学

建築家として公共空間やランドスケープの設計を手がける。
2011年の東日本大震災以降、全国の建築家や学生と共に
震災復興支援『失われた街 模型復元プロジェクト』を活動、
現在は能登半島を支援。

近年の主な受賞歴

2023年「NATURE STUDIO」にて令和5年度
「第26回人間サイズの街づくり賞」まちなみ・建築部門受賞
「東遊園地」にてグッドデザイン賞ベスト100受賞
2024年「南町田グランベリーパーク」にて日本造園学会賞受賞
(福岡孝則氏と共同受賞)

主な作品に、Book Farm 神戸市北神図書館、
東遊園地 URBAN PICNIC、
湊山小学校跡地活用 NATURE STUDIO、
青葉山公園 仙臺緑彩館（仙台市）など。

東日本大震災復興支援や能登半島地震などのご体験をもとに、
「地震大国日本に住まう建築家として、今何ができるのか？」
建築という場所を創り出すものとしての立場から、
今求められる建築とその可能性についてお話しいただきます。

東日本大震災復興支援

失われた街

LOST HOMES

模型復元プロジェクト

このプロジェクトは、失われた街や村を
1/500の縮尺の模型で復元し、
地域に育まれてきた街並みや環境、
人々の暮らしの中で紡がれてきた記憶を
保存・継承していくことを目指しています。
復元模型の制作は建築学生による
ボランティアを中心として、
地域の皆様、
その他街の再生を願うすべての皆さんの
協力を仰ぎながら
進めていきたいと思っております。



■開催日 令和7年2月21日（金）
受付開始 14:00
講演 14:30 ~ 16:30

■会場 ANCHOR KOBE
神戸市中央区加納町4丁目2-1
神戸三宮阪急ビル 15階



■申込 表面のQRコードより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。（定員100名）
定員に達した場合は先着順となりますので、ご了承ください。

主催：（一社）兵庫県建築士事務所協会
青年部・女性部合同委員会



一般社団法人

兵庫県建築士事務所協会

HYOGO ASSOCIATION OF ARCHITECTURAL FIRMS

兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目9番18号
古河ビル4階

TEL 08-351-6779 FAX 078-371-7913